

■スペイン・豪州：Iberdrola 社、洋上風力事業強化のためパートナーと連携

エネルギー専門サイトは 2019 年 6 月 6 日、スペインの電気・ガス事業大手の Iberdrola が洋上風力事業の競争力を強化するため、豪州のインフラ基金 Macquarie の 100%小会社である Green Investment Group と提携したことを報じた。今回の提携は、オランダで入札手続きが実施されている洋上案件について協力するものであるが、今後の協力強化のベースとなると考えられている。欧州の陸上風力や太陽光発電において、Iberdrola はトップ事業者で、2018 年 2 月に発表した「事業戦略 2018-2022」では、投資全体の 3 分の 1 を引き続き再生可能エネルギーに投資すること、特に洋上風力事業を強化する方針を発表している。現在稼働している洋上発電設備の規模では Iberdrola は世界で 4 番目であり、Orsted (387 万 kW)、Vattenfall (222 万 kW)、E.ON (144 万 kW) の後塵を拝しているが、開発中の案件を 1,200 万 kW 以上有しており、今後の有望な事業と位置付けている。なお、洋上風力事業は初期投資額が大きく、資金力の有無が競争力を大きく左右するため、ポルトガルのエネルギー事業者 EDP とフランスの大手である Engie も JV 設立を発表するなどの動きがある。